

経営比較分析表（令和6年度決算）

福井県 福井市

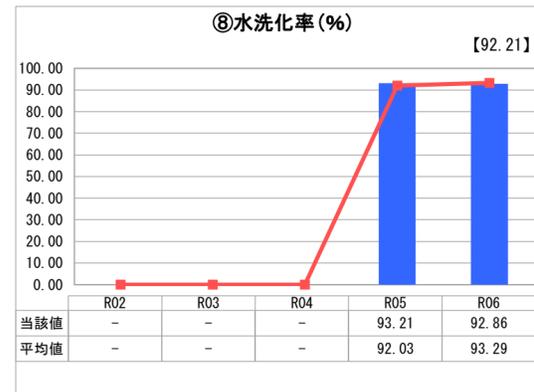
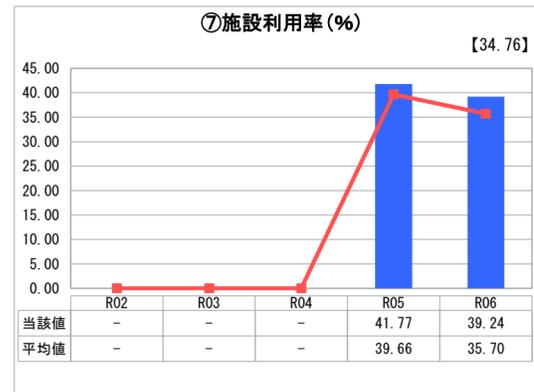
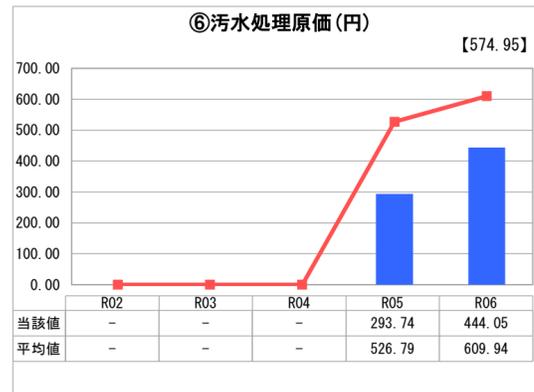
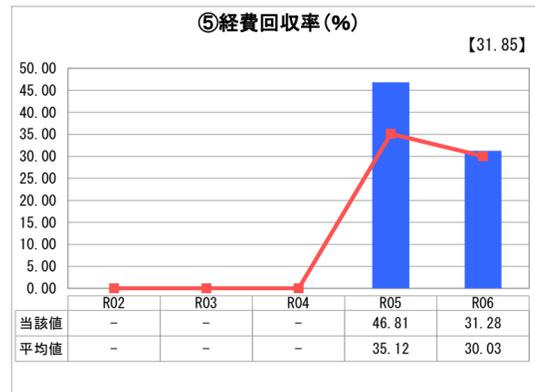
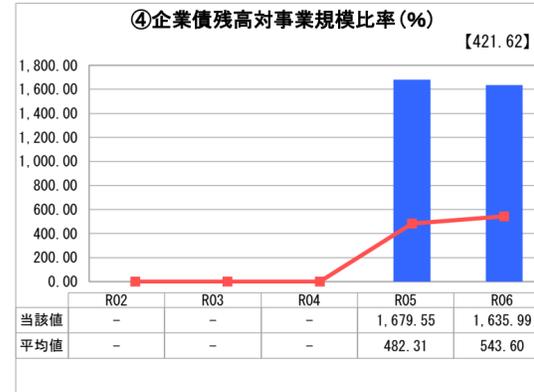
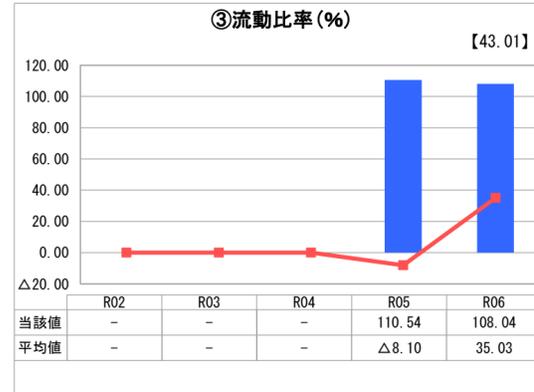
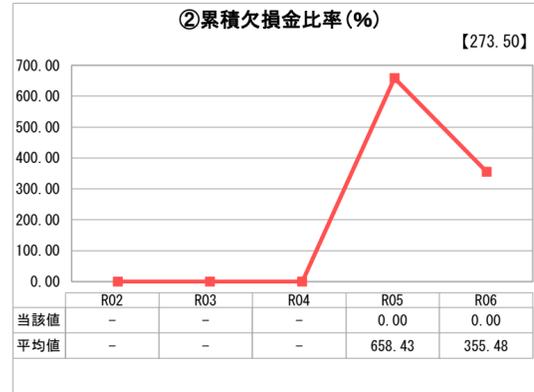
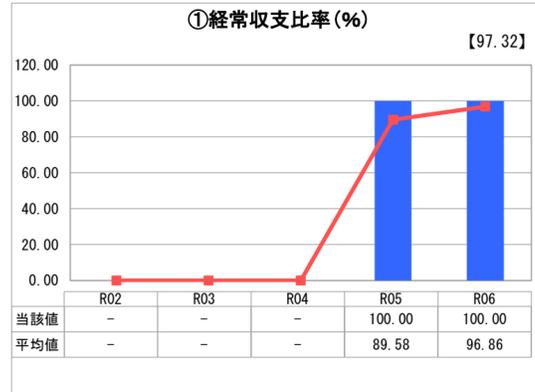
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	林業集落排水	G2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.97	0.06	102.89	2,618

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
254,029	536.37	473.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
154	0.13	1,184.62

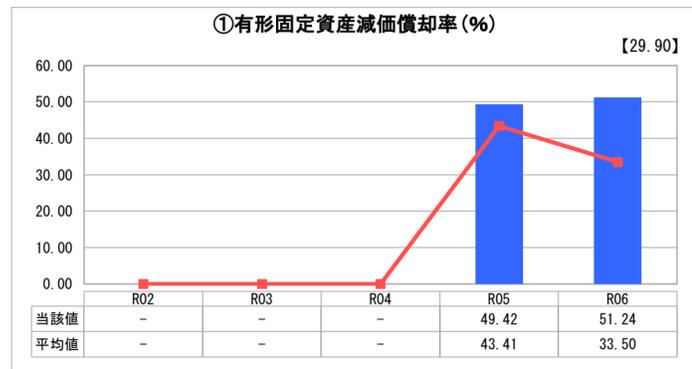
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの補助により「①経常収支比率」は100%を確保しているものの、「⑤経費回収率」は100%を大きく下回っており、使用料収入では費用を賄っていない状況である。
 「④企業債残高対事業規模比率」は類似団体平均値を上回っているが、今後、残高は減少していく見込みである。
 「⑥汚水処理原価」は類似団体平均値を下回っているが、より効率的な汚水処理に努める必要がある。
 「⑧水洗化率」は、類似団体平均値と同水準にある。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値より高く老朽化が進んでいる。「③管渠改善率」は、まだ耐用年数を経過した管渠がなく、更新を行っていないため0となっている。

全体総括

事業区域が過疎地域であることから、使用料収益だけでは経営が成り立たず、一般会計繰入金に大きく依存している状況である。
 今後も、人口減少や節水等により使用料収益は減少が予想される一方、施設の老朽化に伴い維持管理費や更新費用は増加が見込まれる。
 そのため、施設の更新については、適正規模や事業費の平準化などを十分検討のうえ、計画的に進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。